

令和5年度 茨木市立西陵中学校経営方針

校長 山田 泰司

1. 教育目標

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育て、
調和のとれた「たくましく生きる力」の育成を目指す。

2. 教育方針

- (1) 自ら学び考え、判断、行動し、よりよく問題を解決する力を育てる。
 - ・基礎基本を大切にし、一人ひとりが確かな学力を身につける。
 - ・学ぶ意欲を持ち、自分の力で問題解決に向けて進む態度を育てる。
 - ・知的好奇心を育み、自学自習の習慣を身につけさせる。
- (2) 一人ひとりの個性を認め合い、豊かな感性と人権感覚、道徳心を育てる。
 - ・子どもが抱える課題、背景を理解し、一人ひとりに寄り添う教育を行う。
 - ・人間の尊厳、他の人への思い、相互扶助などを大切にする子どもを育てる。
 - ・教育活動を通じて道徳的な心情、礼儀、規範意識を養い、自己の生き方についての考えを深めさせる。
- (3) 心身ともに健康で、たくましく生きる力を育てる。
 - ・家庭と連携し、規則正しい生活習慣を身につけさせる。
 - ・健康、安全に気をつけ、心身ともに健やかな体をつくれる指導や支援をする。
 - ・運動や活動を通して、たくましい体力・気力を身につけさせる。

3. めざす生徒像

- (1) 基礎基本を身につけ、学ぶ意欲のある生徒
- (2) 自分を認め、他者ともつながる心豊かな生徒
- (3) 自ら考え、判断・行動できる生徒
- (4) 人権を大切にし、自他の生命を尊重する生徒
- (5) 郷土を愛し、地域とともに成長する生徒

4. めざす教職員像

- (1) チーム力を高め、生徒のために同じベクトルで連携し合える教職員
- (2) 教育に対する誠意・熱意等を持ち、自分の持つ個々の特性を発揮できる教職員
- (3) 子どもを愛し、子どもの人権を尊重し、子どもとともに成長する教職員
- (4) 職務に対し厳正・真摯であり、積極的に新しい実践や研修に取り組む教職員
- (5) 子どもの生活背景や課題を的確に把握し、真心ある寄り添う指導を行う教職員
- (6) 家庭・地域との連携を密にし、ともに子どもを育成していく教職員

5. 具体的な指導方針（教育目標を達成するために）

（1）学力向上と授業改善

- ・「**気づく、ふれあう、学びあう**」を意識した授業実践
- ・授業規律の確立
- ・主体的、対話的で深い学びの追求
- ・ハード、ソフトの両面でユニバーサルデザインを意識した教育実践や環境づくり
- ・生徒がわかりやすい様々な手法や形態での授業の提供
- ・ICTの活用による授業実践（新しい形式の授業・リモート授業等）

（2）生徒指導の充実

- ・生徒指導方針の共有とベクトルのそろった指導
- ・長欠、不登校生徒の減少
- ・生徒に寄り添った生徒指導への意識向上
- ・登校しにくい生徒への適切なケア
- ・家庭や関係諸外部機関との連携
- ・「いじめ」に対するスピーディーかつ適切な指導の展開
- ・日常の学校生活からの人間観察・理解、その共有
※少しの変化を見逃さない感性、連携力や観察力（チャンス面談の重視）

（3）人権教育の推進

- ・日常生活で、他者を思いやり、生命の尊さを敬える気持ちを持つ心の育成
- ・多種多様な価値観への尊重と理解
- ・あらゆる差別を無くす立場になるような生徒の育成
- ・平和を愛し、大切にできる心の育成

（4）進路指導の充実と進路保障

- ・進路指導計画の着実な実施
- ・生徒本人、保護者の意志を尊重した丁寧な指導
- ・入試制度の変更や高等学校、上級学校、事業所等の特徴の把握と伝達

（5）支援教育の推進

- ・一人ひとりの違いや特性を認め理解し、支援を必要とする生徒への適切な指導・支援教育の推進を多くの教員から受けられるような体制をつくる。
- ・支援教育コーディネーターを中心とした組織体制の構築及び確立

（6）生徒集団の育成（集団づくり）

- ・生徒がお互いに管理する場面を増やし、生徒相互による自治力の育成
- ・互いの個性を尊重する温かい人間関係の理解と構築
- ・コミュニケーション能力の育成 → **学校カフェの開設継続**
- ・学校行事、課外活動、部活動等への積極的な参加

（7）学級活動・生徒会活動の活性化

- ・生徒会活動、学校行事、地域活動等への積極的な参加
- ・自主性、協調性、社会性の育成

(8) 教職員及び生徒の危機管理意識の高揚

- ・学校管理下の事故やケガ等に対する適切な対応（判断して病院への搬送、受診）
- ・学校内で生じた事象の保護者への連絡の徹底

※報告→連絡→相談→結果報告

- ・教職員による適切な救命救急措置とその研修（首上部のケガは病院受診）
- ・成績、テスト等の個人情報・文書の管理の徹底
- ・複数人による複数回の点検 ← チームでミス無くす体制
- ・体罰、暴言はもちろんのこと、身体的接触等の不適切な指導をしないこと。

(9) 道徳教育の推進

- ・本校の道徳教育の着実な進行、深化、充実、確実な継承
- ・学校教育全般で実践する道徳教育

(10) 体力の向上、健康の保持・増進、安全指導の充実

- ・体力向上、健康増進の取り組み
- ・安全教育
- ・環境整備（施設設備の安全点検）

6. 今年度の重点課題

(1) 長欠・不登校生徒の減少へ

- ☆2日連続欠席した生徒には「**学年チームで対応**（複数教員での家庭訪問等）」
- ☆ステップルーム（適応指導教室）の**チーム運営**

(2) 支援教育の組織的推進

- ☆支援教育 Co を中心に支援学級担任・通級指導担当・各学年 Co や各学年教員・介助員での**連携**
 - 支援学級（コスモス学級）
 - 通級指導（えるクラブ）新設**
 - 特別支援教育（個別の支援計画）
- ☆生徒への障がい者理解教育の推進

(3) さらなる業務改善

- ・各種会議および業務の**タイムマネジメント**
- ・生徒の出欠の ICT 化推進
- ・会議の ICT 活用

(4) 道徳教育の推進

- ローテーション道徳・リレー道徳の継続
- 学期毎の評価についての共通理解と継続

(5) 校内環境の整理整頓・整備補修の徹底や推進

(6) 「茨木っ子プラン ネクスト 5.0 ～一人も見捨てん教育～」の推進

- ・いま未来手帳の活用の継続